

Continuing Professional Development(CPD) Audit について、皆様の参考になればと思い、私の体験談をまとめました。

PE ライセンス更新時のCPD の扱いは州により異なっており、CPD を要求する州と要求しない州があります。私の登録しているオレゴン州では2年毎のPE ライセンス更新において、30 Professional Development Hour (PDH) の継続教育を実施したという条件の基に更新が認められます。そのため、この30 PDH の自己学習を実施したことをPE ライセンス更新時に自己申告することになっています。また、オレゴン州では、このPDH が本当に実施されているかを確認するために、毎回無作為に抽選した人に対し Audit を行っています。

私は、PE ライセンスの有効期限が2007年6月30日でしたので、6月中にOregon State Board of Examiners for Engineering and Land Surveying (OSBEELS)のプロセスに従いPE ライセンスの更新を実施しました。更新前の年はJSPE 主催のCPD セミナー等に積極的に参加していたので、特にPDH も確認せずに更新手続きをしてしまいました。1ヵ月後ぐらいにPE ライセンスの更新が完了したという内容の手紙と共に新たなポケットカードが送られ、無事に更新手続きが完了したものと安心していました。

ところが、約6ヵ月後の2007年12月20日頃にOSBEELS より手紙が送られてきました。その手紙には、幸運にもCPD Audit に当選したので、必要書類を2008年1月18日までにOSBEELS に送れという内容のものでした。

手紙を受け取ってからは、まだ約1ヶ月の猶予がありましたが、私は出張中で実際に手紙を見たのは年末に自宅に戻った時でした。この時点では、CPD セミナーのCertificate があるから大丈夫と高を括っていました。年が明けてAudit 用書類の準備を開始し、オレゴンまでの配送時間を考えて約10日間で書類や記録を探し出しまとめる予定で作業を行いました。

まず、最初に手をつけたのが手紙に書いてあるOregon Administrative Rule (OAR) 820-010-0635, 820-015-0026 の内容を確認しました。OAR 820-010-0635 にて、どの項目が何時間のPDH に該当するかを確認しました。また、OAR 820-015-0026 には、Audit に不合格時の対応や行動が記載されていました。

今までに入手したPDH がどのType of activity に該当するかのまとめと平行して、取得したPDH を時系列順に整理し、PDH として認められるものの選別を行いました。この作業の途中で、本来あるはずのCertificateが見つからない！という問題(普段の整理が悪い！)が発覚しました。

このAudit は2005年7月1日から2007年6月30日までの2年間に取得したPDH が対象であるため、この期間中に取得したPDH をまとめると、JSPE で取得したPDH はたったの5PDH しか見つかりませんでした。これでは、虚偽の申告でAudit に不合格になってしまいます。そのため、CPD セミナー以外でPDH として認められるものは何かを再度確認しました。PE 登録後に行った活動で、PDH として加算できるものは、

- “Active participation in professional or technical societies” : 最大6PDH
- “Self study of relevant materials that significantly improve the registrant’s ability to

work in the subject area” : 最大6PDH

しかないことが分かりました。これに加えて、社内のトレーニング実績、JSPE での部会活動やFE 試験時のブ
ロクタ活動を合計しましたが、これでも29PDH と1PDH 不足しました。

そこで、何かもっとPDH として認められるものが無いかとOAR を読み返すと前回の更新時のPDH が最
大15PDH繰り越せることが分かりました。PE 登録をした2004 年1 月から2005 年6 月30 日までの期
間に取得したPDH を最高の15PDH 加算することとし、合計38PDH として何とか目標とする30PDH を満
足することができました。これで規定の30PDH は満足しましたが、OAR で規定されている内容を本当に満足
しているのかという不安がありました。特にJSPE の部会活動やPE/FE 試験ボランティア活動が認められな
ければ、その時点でAudit は失格となってしまいますからです。

まとめた書類はコピーを取り、このPDH リスト(添付-2)の他に証明としてCertificate とCertificate が無
いものはトレーニング教材の表紙と目次を添付して、2008 年の1 月5 日にOSBEELS に書類を発送しま
した。その後、OSBEELS からAudit の結果連絡が来るかと待っていましたが、結局は2 年間何の連絡も無
く、2009年の更新の連絡が来たのでAudit はパスしたのだと、その時になって分かりました。

最後に、私はドタバタとCPD 記録を掻き集め何とか事なきを得ましたが、**PE の皆様はCPD Audit の
手紙がいつ届いても良いように、JSPE のCPD セミナーに積極的に参加したり、PE/FE 試験にボランテ
ィア参加するなど、日頃よりPDH を計画的に取得**されることをお勧めいたします。

なお、この時の反省としてセミナーに参加した際には、その記録をリストにまとめると共にCertificate をファ
イルするようにしました。また、今年行った更新では、この反省を活かしPDH を確認後に更新のサインを行いま
した。今回はいつAuditの手紙が来ても問題のないよう準備が整っています。

以下にこの体験談をまとめている際に参考にしたCPD 関係のリンクを添付します。

http://www.osbeels.org/docs/CPD_questions.pdf

<http://www.oregon.gov/OSBEELS/docs/Forms/CPDOrganizationalForm.pdf>

http://arcweb.sos.state.or.us/rules/OARS_800/OAR_820/820_010.html

<http://www.pdhcenter.com/pdh-table.htm>

以上